

I 学校概要（情報提供ガイドラインの項目1）

1 学校組織

(1) 学校法人岡山科学技術学園

理事長 瀬戸川正彦
校外理事 梶谷俊介 中村忠司 松田 久 丸山夏樹 森谷庸雄
校内理事 瀬戸川康宏 大月秀之 小野裕明
監 事 岡本博明 成本 剛
所在地 〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8番10号 TEL (086) 255-7171

(2) 専修学校岡山科学技術専門学校

校 長 大月秀之
設置課程 工業専門課程、文化・教養専門課程
所在地 〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8番10号 TEL (086) 255-7171
〒700-0034 岡山県岡山市北区高柳東町7番15号 TEL (086) 255-4822
HP <https://www.oist.ac.jp>

2 教育活動方針

(1) 教育理念

技術教育を通じての人間教育

(2) 教育目標

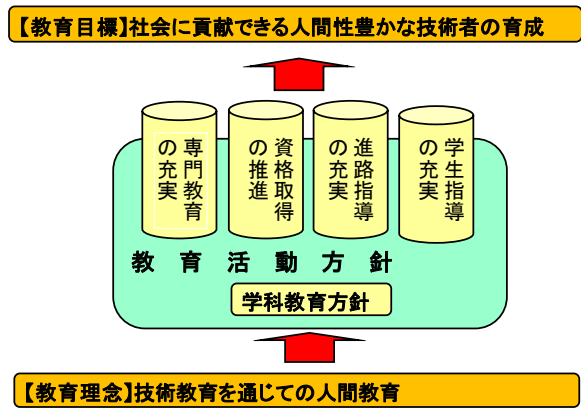
- ① 社会の要請に応える人間性豊かな技術者を育成する。
- ② 社会における果たすべき使命を自覚し、創意と工夫のできる技術者を育成する。
- ③ 科学技術に積極果敢に取り組む、誠実で逞しい精神力を備えた技術者を育成する。
- ④ 自他の健康と安全に配慮ができる、健康で明朗な技術者を育成する。

(3) 教育方針

- ① 専門教育の充実
- ② 資格取得の推進
- ③ 進路指導の充実
- ④ 学生指導の充実

(4) 教育体系

教育理念のもと、上記4項目を教育活動の柱とし、全教職員が教育の活性化に努め、教育目標の実現を目指す。



3 沿革

昭和62年10月	専修学校の設立が認可される
昭和62年11月	1号館竣工
昭和63年 4月	開校式を挙 設置学科：情報系、電気系、生物、機械系、自動車の11学科
昭和63年 9月	2号館竣工
平成 1年 4月	建築・インテリア系学科を新設
平成 8年 4月	3号館竣工 設置学科 情報系、電気系、生物、建築系、機械、測量、自動車の11学科
平成 9年 9月	創立10周年記念式典を挙
平成18年 3月	高柳校舎 B 棟・C 棟竣工。3号館を A 棟に改称
平成23年 4月	日本語学科開設
平成24年 5月	創立25周年記念式典を挙 設置学科 情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、ものづくり、自動車系の11学科
平成28年 4月	国際自動車工学科、進学準備学科開設 設置学科 情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、ものづくり、自動車系、日本語系の14学科
平成30年 5月	創立30周年記念式典を挙
平成31年 4月	学科名変更 バイオサイエンス学科 ⇒ 食品生命科学科 ものづくり工学科 ⇒ ものづくり創造学科
令和 2年 4月	設置学科 映像音響、電気、食品生命科学、建築系、測量環境、ものづくり、自動車系、日本語系の12学科

4 設置学科、学生数*2

学科名	V*1	E*1	B*1	K*1	LK	N*1	S*1	LM*1	M*1	IM	Y	J
学生数*2	53	24	16	48	0	26	38	2	71	124	47	83

*1：職業実践専門課程認定学科

*2：令和2年5月1日現在

(人)

V 映像音響学科

E 電気工学科

B 食品生命科学科

K 建築工学科

LK 建築工学研究科

N 測量環境工学科

S ものづくり創造学科

LM 一級自動車工学科

M 二級自動車工学科

IM 国際自動車工学科

Y 進学準備学科

J 日本語学科

II 各学科等の教育（情報提供ガイドラインの項目2）

1 映像音響学科

(1) 目指す学科像

映像音響学科は、人々に感動を与えることのできる人材の育成のために「専門性の向上」と「創造性のある人材」をもとに、以下の2点に取り組みます。

- ① 専門性を身に付けた証となる映像音響関連の資格の取得を目指し、エンターテインメント業

界に貢献できる学科を目指します。

- ② 芸術施設・団体との連携をはかり、芸術に触れる環境の構築を行うことで感性を高め、創造性のある人材育成を目指します。

(2) 育成する学生像

映像音響業界を担う専門性と人間性豊かな人材を育成することを目標に、以下の3点に取り組みます。

- ① 人としての常識（挨拶、時間厳守など）を身につけた人間性豊かな学生の育成を目指します。
- ② 新しい知を創造し、広い視野と専門性を修得するとともに、自分で考え、行動できる技術者を育成します。
- ③ 目標達成のための意欲を持ち、継続的に資格取得に挑戦する人材を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
舞台機構調整技能士検定	入学と同時に受検資格取得 在学中に2級まで受検可能	舞台音響・舞台照明の技術者にかかわる唯一の国家試験。現役の技術者も毎年多く受検している。

(4) 将来はこんな職業に

■カメラマン

テレビで放送される様々な番組やコンサートで大型スクリーンに映し出される映像の撮影をする技術者です。フリーランスとして活躍している実力者もいます。

■照明技術者

テレビ、コンサート、イベントには必ず照明の仕事があります。技術だけでなく、クリエイターとしてもセンスが要求されるため、近年は女性の割合が非常に高くなっています。目の前に映るアートな世界を体感できます。

□その他

■PA エンジニア

■ライティングスタッフ

■イベントスタッフ

■ステージスタッフ

■映像ディレクター

■ラジオミキサー など

2 電気工学科

(1) 目指す学科像

我が国の電気エネルギー需要は年々高まる一方、高い技術力を備えた電気工事士の必要性が叫ばれています。当学科は、第二種電気工事士の養成施設として、以下の3点に取り組みます。

- ① 電気工事に重きを置いたカリキュラムを編成し、電気理論と電気工事の基礎・基本を徹底して学習することにより、いかなる現場にも対応できる電気工事士の養成を目指します。
- ② 第二種電気工事士、第一種電気工事士、工事担任者 DD1 種、第一級陸上特殊無線技士、2級電気工事施工管理技士、消防設備士甲種第4類の資格取得を目指します。
- ③ 挨拶やマナー教育、6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）管理の徹底に向けた学生指導の充実を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、電気工事業界のニーズに応える電気工事士を育成するために、以下の3点に取り組みます。

- ① 質の高い確かな技術力を持った、即戦力となる電気工事士を育成します。
- ② 自主的・創造的な精神を持ち、継続的に資格取得に挑戦する人材を育成します。
- ③ 礼儀正しく人間性豊かでコミュニケーション力を持った人材を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
第二種電気工事士	卒業と同時に無試験で取得	低圧（600V以下）の一般家庭用の電気工事に必要な資格。
1級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	大規模建設において電気工事と他の工事に関連づけ、電気工事士への指示を担当する主任に必要な資格。
2級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験2年で受験可能	小規模建設において電気工事と他の工事に関連づけ、電気工事士への指示を担当する主任に必要な資格。

(4) 将来はこんな職業に

■電気工事士

住宅、ビル、工場、店舗などの配線工事や電気設備の保全などの作業に従事するには資格が必要です。第一種・第二種電気工事士試験に合格し、免許を取得した者を電気工事士と呼びます。

■設備管理者

マンション、工場、ビル、病院などの建築物において、照明、エレベーターなどの電力設備や防火用または避難用に用いられる消防設備、空調設備、ボイラーなどの定期点検、運転管理そして、施工管理を行う技術者です。

□その他

- 電気保守・メンテナンス
- 電気通信工事・保守
- 機械保全
- サービスエンジニア
- 技術公務員 など

3 食品生命科学科

(1) 目指す学科像

当学科は「生命は安心安全な食から」の理念に基づき、以下の2点に取り組みます。

- ① 「食品」「環境」の基礎知識の習得の他、新しい微生物PCR法等の技術を学ぶことで、食品製造・環境分析会社のニーズに応えられる学生の育成を目的とした現場の実践例を取り入れた授業・実習を行います。
- ② 地域に根ざした食品企業と連携し、微生物技術を生かした発酵食品の創造や、カギセンブランドのハーブティーの製造販売を共同で進めます。

(2) 育成する学生像

食品や環境の分野で必要な知識を身に付け、人間性豊かな人材を育成することを目標に、以下の3点に取り組みます。

- ① 社会人としての常識（あいさつ・コミュニケーション・時間期限厳守など）を身につけた学生の育成を、学校生活・HR や一般教養等の授業で目指します。
- ② 校外研修を通じ、仕事に密着した学問の習得はもちろんのこと、研修先の方との協調性や研修中の事故などに対する安全性の意識をもった学生を育成します。
- ③ 実験・実習では、グループワークを多く取り入れ、社会で自分の考えや意見がはっきり主張できる能力の育成を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
中級バイオ技術者認定試験	卒業見込みで受験可能	遺伝子組換えなどの技術、そしてこれらを行うための安全管理に関する知識をもち、適切な指導者のもとで実際にバイオテクノロジーに適応しうる資質を認定する。

(4) 将来はこんな職業に

■食品衛生検査

食品中の汚染の指標菌や食中毒菌を検査し「食の安心・安全」を担保する業務を担当します。

■環境分析技術者

河川の水質分析や大気汚染物質の測定、希少な動植物の調査など、環境保全の業務を担当します。

□その他

■発酵関連 ■食品製造 ■食品開発 ■化学関連 ■品質管理 など

4 建築工学科

(1) 目指す学科像

建築の魅力を理解し、仕事に役立つ実践的な知識と技術を修得するために、以下の3点に取り組めます。

- ① 建築設計・施工の分野のみならず、インテリア・福祉住環境など幅広い専門分野の学習と知識の習得を目指します。
- ② 2級建築士や2級建築施工管理技士・インテリアコーディネーターなど、多くの資格取得が可能となる学習を実践します。
- ③ 企業・外部講師との連携やインターンシップ等多彩な取組を通じて、社会で通用する実践力が身に付くように学生指導を行います。

(2) 育成する学生像

社会に通用する実践力を備え人間性豊かな建築技術者の育成を目指し、以下の3点に取り組めます。

- ① 建築教育を通じて、創造することの楽しさや喜びを感受できる豊かな心を育み、社会に貢献できる学生を育成します。
- ② 建築の専門資格や技術を修得することで、未来に挑戦する意欲を養い、自信と誇りをもった学生を育成します。

- ③ 基礎・基本を大切にしながら多様な知識・技術を身に付け、意欲的に実社会に飛び込もうとする、生きる力と逞しさを備えた学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
一級建築士	卒業後実務経験4年で受験可能	建築物の用途、規模、構造など無制限に、設計および工事管理ができる高度な資格。
二級建築士	卒業と同時に受験可能	一級より業務範囲は限られるが、設計や工事の業務ができる有利な資格。
木造建築士	卒業と同時に受験可能	延べ面積300m ² 、階数2以下の木造建造物に関する業務を行う木造専門の建築士資格。
1級建築施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	建築施工技術者を育てる指導的技術者の資格。幅広い建築工事で、管理技術者として活躍できる資格。
2級建築施工管理技士	卒業後実務経験2年で受験可能	現場監督など工事現場での義務づけられている有資格者として活躍できる資格。
インテリアプランナー	卒業後実務経験4年で受験可能	建築物の内部空間の企画・設計から工事管理までトータルに行うことができる資格。
インテリアコーディネーター	在学中に受験可能	住む人にとって快適な住空間を作るために適切な提言・助言を行うことができる資格。インテリア計画や商品選択のアドバイスなどを行う。
商業施設士	卒業後実務経験1年で受験可能 さらに1次試験免除	商業施設の運営・管理システムや店舗の設計デザインから管理までを行うための資格。

(4) 将来はこんな職業に

■建築士（設計業務）

建築業務の中でも最も重要といえる設計の仕事。住宅から学校・病院やショッピングモールなどの大きな建築物まで、建築主の要望をもとに、頭の中にあるイメージを具現化する作業は建築の醍醐味です。

■インテリア設計士

壁紙・床材などの仕上げから、カーテンや照明器具に至るまで、住空間を彩るインテリアを提案します。材質・色・形など、テーマに沿ったインテリアを選び構成するこの仕事は、感性や感覚がとても大切です。

□その他

■建築施工管理技士（現場監督） ■インテリアコーディネーター

■CADオペレーター ■福祉住環境コーディネーター ■家具デザイナー など

5 建築工学研究科

(1) 目指す学科像

当学科は、次の3点に取り組めます。

- ① 二級建築士やインテリアコーディネーターの資格取得
- ② 長期インターンシップ
- ③ 作品制作

このために、学習効果を確実に高める教育を重視したカリキュラムを編成し効果的に取り組むことによって、自己研鑽意欲や豊かなコミュニケーション能力および実践力のさらなる向上を実現する学科を目指します。

(2) 育成する学生像

建築分野の基礎的な知識や技能を修めた学生を対象に、「目指す学科像」で述べた教育を実践します。その教育活動を通して、次のような力を備えた人材を育成します。

- ① 日々進歩する建築技術や知識を他人より先んじて身につけようと行動する力
- ② 周囲の意見を聴きつつも自らの考えで責任をもって判断する力
- ③ 周囲との連携を図りながらチームの一員として業務を進めていく力

(3) 将来はこんな職業に

■建築士（設計業務）

建築業務の中でも最も重要といえる設計の仕事。住宅から学校・病院やショッピングモールなどの大きな建築物まで、建築主の要望をもとに、頭の中にあるイメージを具現化する作業は建築の醍醐味です。

■建築施工管理者（現場監督）

設計図をもとに、職人さんたちを束ねて実際に建物をつくる仕事です。たくさんの人の力を結集し、図面上にある単なる線画を少しずつ実物へと造り上げていくことは、大変おもしろく充実感の大きい仕事です。

□その他

■福祉住環境コーディネーター ■CADオペレーター ■家具デザイナー など

6 測量環境工学科

(1) 目指す学科像

当学科では、測量と土木の両分野における工学的な教育を行います。昨今、災害等により社会基盤の崩壊が危惧されるなか、以下の3点について重点的に取り組み、安心・安全な社会基盤の再構築に貢献する教育を実施する学科を目指します。

- ① 国土交通省国土地理院の測量士補養成施設として必要なカリキュラムを実施し、測量教育の充実を図ります。
- ② 国土交通省の建設業法施行令による技術検定制度の技術検定受験資格認定学科としてのカリキュラムを実施し、建設業施工関連の教育の充実を図ります。
- ③ 土木の社会基盤に関連する工学と、基盤の調査から社会資本の設計、施工、管理、基盤の評価等に至る一連の工学のカリキュラムを実施し土木工学の教育の充実を図ります。

(2) 育成する学生像

社会資本の構築に携わることを喜びとし、安全・安心な社会基盤の創造に貢献することを生きがいとするシビルエンジニアとして活躍できる学生を育てます。その目的達成のため以下の3点に重点を置き人材育成を行います。

- ① 測量部門に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある測量士補の育成を目指します。
- ② 土木建設部門に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある施工管理技士の育成を目指します。
- ③ 測量・土木建設部門に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある技術士補、シビルエンジニア、公務員等の育成を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
測量士補	卒業と同時に無試験取得	測量士が作成した測量計画に従事し、実測を行うための資格。
測量士	卒業後実務経験2年で申請のみで取得	測量法の適用を受ける基本測量、国や公共団体が行う公共測量などに従事するための資格。
1・2級 土木施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	土木工事やトンネル、ダム、橋梁の工事現場に置かれる主任技術者などに必要な資格。
1・2級 管工事施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	管工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2級 造園施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	造園工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2級 建設機械施工技士	卒業後実務経験 2級：1年で受験可能 1級：5年で受験可能	建設現場において管理技術者、主任技術者として機械化施工の管理および監督・指導を行うための資格。

(4) 将来はこんな職業に

■測量士

地面上の点と点の位置関係を測って決めるための技術や作業を測量といいます。測量士とは、この測量に関する知識と技術を身につけ、国土地理院に登録された技術者です。測量士はこの測量作業を計画したり実施したりします。そして、国や地方公共団体が行う測量には測量士が従事しなければならないと測量法で定められています。

■土木施工管理者（現場監督）

土木施工管理者とは、道路、橋梁、トンネル、空港、港湾、河川、ダム、鉄道、上下水道、共同溝など社会基盤の調査、設計、建設、施工、維持管理などに必要な知識・技術を備えた技術者です。社会資本の構築に携わり、社会に貢献するやりがいのある仕事です。

□その他

- 管工事施工管理技士
- 造園施工管理技士
- 土地家屋調査士
- 建設関連設計士
- 地方公務員
- 技術士など

7 ものづくり創造学科

(1) 目指す学科像

基礎的な加工技術や制御技術を修得したうえで、アイデアを形にする学科を目指します。そのため次の2点に取り組みます。

- ① 金属加工、CAD、制御・情報を指導の柱とします。
- ② 各種工作機械や3Dプリンタを活用したものづくりを目指します。

(2) 育成する学生像

基礎から応用までグローバルなものづくりを目指す人材を育成するため、次の2点に取り組みます。

- ① 基礎・基本を身に付け、誠実でたくましく、働く意欲の旺盛な技術者の育成を目指します。
- ② 勤労を重んじ、産業界に貢献できる創造性豊かな学生の育成を目指します。

(3) 将来はこんな職業に

■技術職

設計・製図（CAD）や機械加工の知識・技術を生かし、航空機・船舶・印刷技術・金型製作・機械・自動車部品・プラスチック製品加工など、さまざまな分野で、主として保守・保全を含んだ生産管理者として活躍できます。

■技能職

現在の産業界すべての生産現場で、オペレーターとして活躍できる。医療機器・アパレル・食品加工・電気製品・車両・船舶・航空機・建設機械・工作機械・家具・文具・化粧品など、あらゆるものづくりの現場で生産技術者として活躍できます。

□その他

■CADオペレーター

■機械加工

■機械メンテナンス など

8 一級自動車工学科

(1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として次の取り組みをします。

- ① 一級自動車整備士（小型）の資格を取得します。
- ② 環境及び安全面で多様化する自動車の新技術に関する専門知識や故障探求の手順を学び、整備技術力を磨きます。
- ③ 職業実践専門課程の認定後の取り組みとして、企業・関係団体と連携し長期の体験実習による実践教育により接客対応力を磨きます。

これらを実践することで、真の即戦力となる技術者の育成を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、専門教育を通して自動車整備全般の知識と接客能力を併せ持つ教育を実践することで、以下の人材を育成します。

- ① 日進月歩する新技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけることで、向上心が強く働く意欲の旺盛な人材
- ② 接客能力を身につけ、積極的にお客様を受け入れることができる人材
- ③ 周囲と連携する能力を身に付けることで真のリーダーとして中心的な存在になる人材

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
1級小型自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	自動車整備に関する資格の最高峰。

(4) 将来はこんな職業に

■ 1級小型自動車整備士

自動車整備士の使命は「お客様のカーライフにおいて、喜びや感動していただくための安心を提供する」ことです。より高度な知識を修得し、自信を持ってお客様に接することで、カーライフの良きパートナーになることです。自動車技術は安全性・軽量化に加え、環境性能の必要性など、目覚ましく進歩しています。この高度に進化する技術に対応できる「技術力」とアドバイスできる「話す力」を合わせ持った自動車整備士として1級小型自動車整備士の必要性がますます高まっています。

□その他

- 自動車検査員 ■コンサルタント ■カーアドバイザー など

9 二級自動車工学科

(1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 国家資格の二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）及び自動車に関連する資格の取得を目指します。
- ② 職業実践専門課程の取り組みとして、企業や関係団体と連携し専門教育の内容充実を図ります。
- ③ チームワークや協調性を大切に社会のニーズに応えられる人間性豊かな自動車整備士の育成を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、職業教育を通じた人間教育を基本に、次のような人材を育成します。

- ① 自動車整備に関する専門知識や技術力の向上を目指し「即戦力」となり得る力を育成します。
- ② 基礎・基本の観点から6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）教育の趣旨を理解し、実践できる学生を育成します。
- ③ 常に相手を思いやる気持ちをもって「和」を大切に、協調性の強い学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
2級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2級二輪自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な二輪自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に

■二級自動車整備士

卒業後に取得を目指す二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル・二輪）となり、二輪から大型車まで自動車の整備作業を行います。点検、車検などの定型作業からエンジンの分解修理、故障診断など自動車に関する全ての整備作業を行います。

自動車メーカーと契約し、新車を販売している企業を自動車ディーラーといいます。県下に多くの店舗を保有し、ほとんどの店舗に整備工場を保有しています。好きな車を販売している企業で自動車整備士としての腕を発揮することができます。

□その他

■二輪自動車整備士

■自動車検査員

■カーアドバイザー など

10 国際自動車工学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 国家資格の二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）及び自動車に関連する資格の取得を目指します。
- ② チームワークや協調性を大切に社会のニーズに応えられる人間性豊かな自動車整備士を育成します。
- ③ 日本語能力の向上や日本の常識・マナーの会得を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、職業教育を通じた人間教育を基本に、次のような人材を育成します。

- ① 自動車整備に関する専門的な知識や技術の向上を目指し「即戦力」となり得る力を育成します。
- ② 基礎・基本の観点から6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）教育の趣旨を理解し、実践できる学生を育成します。
- ③ 常に相手を思いやる気持ちを持って「和」を大切にして、協調性のある学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
2級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に

■二級自動車整備士

卒業後に取得を目指す二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）となり、自動車の整備作業を行います。点検、車検などの定型作業からエンジンの分解修理、故障診断など自動車に関する全ての整備作業を行います。

自動車メーカーと契約し、新車を販売している企業を自動車ディーラーといいます。県下に多くの店舗を保有し、ほとんどの店舗に整備工場を保有しています。皆さんが好きな車を販売している企業で自動車整備士としての腕を発揮します。

□その他

■自動車検査員

■カーアドバイザー など

11 進学準備学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

当学科は日本語学科から本校工業専門課程への橋渡しの場として工業専門課程受験に耐え得るような基礎学力の向上を目指し、以下のような取り組みを行います。

- ① 進学および更にその先の就職の際に学生が不自由なく活動できるよう、日本語に関する各技能をバランス良く鍛えながら実践的な日本語の実力を養成します。
- ② 工業系知識を理解しやすくするために理系科目の基礎を養成します。
- ③ 将来、日本で就職することを前提に、その心構えについての指導や情報提供を実施します。

(2) 育成する学生像

当学科は学生が日本で専門技術を習得したあと最終的に社会人として成功が収められることを目標として、以下のような人材を育成する。

- ① より専門性の高い授業を理解し、常に意欲を持って勉学に臨める学生の育成を目指します。
- ② 語学力のみならず、社会人としての常識やマナー、コミュニケーション力を兼ね備えた人材を育成します。
- ③ 長期的な視野のもとで明確な将来像を持ち、それに向けて一つ一つ着実に目標を達成することができる人材を育成します。

(3) 卒業後の進路

■本校の工業専門課程

■大学（経済、語学、福祉）

■専門学校（商業、福祉、服飾）

12 日本語学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

当学科は留学生の本校工業専門課程への進学、日本国内での就職を踏まえ、日本語能力試験の勉強を軸としつつも、日本社会に対応・適応できるだけの日本語力を養うことを目標として、次の3点に重点的に取り組みます。

- ① きちんとした生活指導の上に日本語の授業を構築します。

- ② 日本社会で通用する人柄、考え方、また字の丁寧さの必要性について、学生に対し十分な説明を行います。
- ③ 聞く力だけではなく、自ら発話する力や勉強したことを運用するために必要な「基礎力を強化する取り組み」を、繰り返し行います。

(2) 育成する学生像

日本語力とともに、日本での就職を念頭においたとき必要となる「社会人としての心得」を身につけることを目標とし、次のような学生を育成します。

- ① きちんと約束を守ることができる学生を育成します。
- ② 教員の指示、組織内の規則に従える学生を育成します。
- ③ 自ら目標を定め、その目標に向かって進んでいける学生を育成します。

(3) 卒業後の進路

- 本校の工業専門課程
- 大学（経済、語学、福祉）
- 専門学校（商業、福祉、服飾）

Ⅲ 教職員（情報提供ガイドラインの項目3）

理事長	校長	副校長	専任教員	兼任教員	局長	事務局	計(人)
1	1	1	36	35	1	18	93

Ⅳ キャリア教育・実践的職業教育（情報提供ガイドラインの項目4）

1 インターンシップ

各学科では企業との連携の一環で、企業における現場実習（インターシップ、体験実習）を実施しています。期間および実施時間数は各学科により異なります。

実施学科：

- | | |
|-----------|----------|
| 映像音響学科 | 電気工学科 |
| 食品生命科学科 | 建築工学科 |
| 建築工学研究科 | 測量環境工学科 |
| ものづくり創造学科 | 一級自動車工学科 |
| 二級自動車工学科 | 国際自動車工学科 |

2 進路講演会

学生の進路意識を高めるとともに、職業選択の一助にするため、学生向けの進路講演会を開催しています。

- 学校が主催するもの : 年1回
- 保護者が主催するもの : 年1回

3 企業説明会

本校では関係企業の協力のもと、学校主催の説明会を、毎年1月を中心に1年生を対象として実施しています。参加企業数は学科により異なりますが、学校全体で延べ140社の参加です。

4 教職員の研修会の参加

教職員の資質能力の向上を図るため、毎年多数の教職員を外部研修に派遣しています。昨年度は延べ60名が参加しました。

5 研究紀要

本校では教職員の資質能力の向上をとおして、本校教育の一層の充実を図ることを目的に、平成22年度から教職員の執筆による研究紀要を発刊しています。研究紀要の発刊は、本校教職員の研究意欲の醸成に繋がるとともに、関係高等学校や専修学校にも配布し本校教育の力量を周知する広報誌として活用しています。

V 様々な教育活動・教育環境（情報提供ガイドラインの項目5）

1 広報新聞

本校では本校の教育活動を保護者に理解していただくため、学校行事等のトピックスを掲載したカギセンニュースを発行しています。カギセンニュースは、成績表の送付にあわせて保護者に配付し学校と家庭を結ぶ情報手段として活用しています。「学校の状況や学生の活動状況が手に取るように分かる」と非常に好評です。

2 技術競技会

建築工学科、建築工学研究科を中心に設計コンクール等に参加し、毎年優秀賞に入賞するなどして高い評価を頂いています。

二級自動車工学科では、岡山県自動車整備技能競技大会で優勝し、現在2連覇中です。

3 展示会・発表会

卒業研究の発表として校内および校外の施設を会場に開催しています。

開催学科：

映像音響学科

食品生命科学科

建築工学科

建築工学研究科

ものづくり創造学科

4 校外研修

全学科が校外の施設等の見学や技術研修に取り組んでいます。

5 学生寮の整備

本校は、遠隔地から進学する学生のため学生寮を設け生活支援を行っています。

VI 学生の生活支援（情報提供ガイドラインの項目6）

1 アルバイトの紹介

学生窓口を設けアルバイト情報等を提供しています。

2 教育相談

本校ではクラス担任が教育相談の窓口となり、初期の対応に当たるとともに、内容によっては学科長、教務部長、教頭、副校長が連携して対応できる体制を整えています。

3 保護者会

本校の保護者会は、平成12年に学校を支援する組織として設立されました。活動としては、学校行事等への参加、進路講演会の開催、備品類の寄贈等です。

4 企業後援会

本校の企業後援会は、平成3年に教育事業の後援と学生の就職支援等を目的として設立され、本校教育並びに卒業生の進路等に絶大な支援をいただいています。会員企業数は160社です。

5 同窓会

本校の同窓会は、「会員相互の親睦を図り、在校生および卒業生の縦のつながりを密にし、各分野で活躍されている同窓生のつながりを深める」ことを目的に平成7年に設立され、今日まで本校卒業生の精神的拠り所となっています。現在の会員数は7,817名です。

本校が創立30周年を迎えたことに対して、同窓会よりスクールバスを寄贈いただきました。

VII 学生納付金・就学支援（情報提供ガイドラインの項目7）

1 学生納付金

学科	入学金 (入学時のみ)	学費（年間）			1年次 合計	2年次 合計	3年次 合計	4年次 合計
		授業料	実習費	設備維持費				
映像音響学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
電気工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
食品生命科学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
建築工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
建築工学研究科	220,000	500,000	100,000	230,000	1,050,000			
測量環境工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
ものづくり創造学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
一級自動車工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000	980,000	980,000
二級自動車工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
国際自動車工学科	100,000	250,000	180,000	170,000	700,000	600,000	600,000	
進学準備学科	100,000	500,000	0	100,000	700,000			
日本語学科	100,000	500,000	0	100,000	700,000	600,000		

（単位：円）

※上記納付金以外に、教科書代、教材・教具費用、学生諸費用（同窓会費、補助教材費、スポーツ振

興費、保険代等)として下記の金額を入学前または進級時に納めていただきます。

●1年次

6万円程度：進学準備学科・日本語学科

12万円程度：建築工学研究科

13万円程度：食品生命科学科・測量環境工学科・ものづくり創造学科

14万円程度：国際自動車工学科

15万円程度：二級自動車工学科

19万円程度：映像音響学科・電気工学科

24万円程度：建築工学科

※ノートパソコンを使用する下記()内の学科で、学校を通じて購入する場合は、別途20万円程度が必要です。

(映像音響学科・電気工学科・食品生命科学科・建築工学科・建築工学研究科)

●2年次

6万円程度：日本語学科

12万円程度：国際自動車工学科

15万円程度：上記学科以外

●3年次

10万円程度

●4年次

10万円程度

2 奨学金制度

(1) 特待生制度

〈特待生の特典〉

授業料全額～3万円を給付します(初年度のみ)

〈応募資格〉

専願にて本校の入学試験を受験している等

※入学後、ホームルームなどで案内します。

(2) 奨学金

●指定校推薦にて受験した合格者は指定校奨学金として授業料より10万円を減額します。

(初年度のみ)

●専願にて受験した合格者は専願奨学金として授業料より2万円を減額します。(初年度のみ)

(3) 家族割引

本校に合格し入学する者で、本人と2親等以内の間柄にある兄弟姉妹または親子等が本校に在学中もしくは卒業している場合、家族割引として授業料より10万円を減額します。(初年度のみ)

(4) 学費補助制度

本校に合格した方は、下記の奨学金や、国または商用銀行の教育ローンを利用できます。

独立行政法人 日本学生支援機構

募集期間	4月中旬に希望者を対象とした説明会を行います。(高校在学時に予約可能。詳しくは高校の先生にご相談ください。)
------	--

採用決定	学校の選考委員会が人物・学力・家計の推薦基準を満たしている奨学金申し込み者の中から選考のうえ、機構に推薦します。機構では、この推薦を受けて審査を行い、奨学生として採用を決定します。
貸付月額	第一種奨学金（無利子） 自宅通学者：2万円、3万円、4万円、5万3千円 自宅外通学者：2万円～6万円希望月額を選択できます。 第二種奨学金（有利子） 2万円～12万円希望月額を選択できます。
利 息	第二種奨学金（有利子） 在学中は無利子。卒業後は3%を上限とする利子がつきます。
保 証 人	保証人・連帯保証人が必要。（機関保証制度あり。）
返還方法	貸与終了後、翌月から数えて7か月目に本人指定の口座から自動引き落としにより返還が始まります。 月賦返還、月賦・半年賦併用返還のどちらかを選択できます。（経済状況により繰り上げ返還、減額返還、返還期限の猶予等もあります。）
返還回数 及び金額	返還総額により決定します。
そ の 他	貸与制度のため、返還義務があります。 給付型奨学金については、高校の先生にお問い合わせください。

VIII 学校財務（情報提供ガイドラインの項目8）

貸借対照表

学校法人名
岡山科学技術学園

（令和2年3月31日現在 単位：円）

資 産 の 部		負債・純資産（基本金及び繰越収支差額）の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産 (a)	1 774 860 082	固 定 負 債 (c)	313 191 718
有 形 固 定 資 産	1 720 883 133	(1) 長期借入金	307 132 675
内 訳		(2) 学校債	
(1) 土 地	911 346 317	(3) 長期未払金	6 059 043
(2) 建 物	746 541 642	(4) 退職給与引当金	
(3) 構 築 物	21 812 897	(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の固定負債)	
(4) 教育研究用機器備品	30 914 897	流 動 負 債 (d)	452 590 875
(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の有形固定資産)	10 267 380	(1) 短期借入金	70 000 000
特 定 資 産		(2) 一年以内償還予定学校債	48 720 000
内 訳		(3) 手形債務	
(1) 退職給与引当特定資産		(4) 未払金	13 802 780
(2) その他 ((1)以外の特定資産)		(5) 前受金	8 646 000
そ の 他 の 固 定 資 産	53 976 949	(6) その他 ((1)(2)(3)(4)(5)以外の流動負債)	311 422 095
内 訳		負 債 計 (e) (固定負債(c) + 流動負債(d))	765 782 593
(1) 有価証券		基 本 金 (f)	1 920 544 529
(2) 収益事業元入金		(1) 第1号基本金	1 870 544 529
(3) 長期貸付金		(2) 第2号基本金	
(4) その他 ((1)(2)(3)以外のその他の固定資産)	53 976 949	(3) 第3号基本金	
流 動 資 産 (b)	171 279 743	(4) 第4号基本金	50 000 000
内 訳		繰 越 収 支 差 額 (g)	△ 740 187 297
(1) 現金預金	141 433 579	翌年度繰越収支差額	△ 740 187 297
(2) 未収入金	620 820		
(3) 短期貸付金	21 064 551		
(4) 有価証券			
(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の流動資産)	8 160 793		
合 計 (B) 固定資産(a) + 流動資産(b)	1 946 139 825	合 計 (B) 負債計(e) + 基本金(f) + 繰越収支差額(g)	1 946 139 825

※純資産の部の合計は、基本金(f)と繰越収支差額(g)の合計のため、省略しています。

事業活動収支計算書

学校法人名						
岡山科学技術学園						
		(平成31年4月1日～令和2年3月31日 単位:円)				
区 分	000		Y00	(※学校名を記入)	(※学校名を記入)	
	総 計		学校法人部門	岡山科学技術 専門学校		
教育活動収支	収入の部	(1) 学生生徒等納付金	519 527 409		519 527 409	
		(2) 手数料	12 844 156		12 844 156	
		(3) 寄付金	1 718 080		1 718 080	
		(4) 経常費等補助金	3 244 971		3 244 971	
		(5) 付随事業収入	39 401 523		39 401 523	
		(6) 雑収入	19 467 535		19 467 535	
		a 教育活動収入計	596 203 674		596 203 674	
	支出の部	(1) 人件費	349 190 202	29 150 000	320 040 202	
		(2) 教育研究(管理)経費	212 193 521		212 193 521	
		(うち減価償却額)	60 021 044		60 021 044	
		(3) 徴収不能額等				
		b 教育活動支出計	561 383 723	29 150 000	532 233 723	
	o 教育活動収支差額 (a 教育活動収入計 - b 教育活動支出計)		34 819 951	△ 29 150 000	63 969 951	
	教育活動外収支	収入の部	(1) 受取利息・配当金	521 770		521 770
(2) その他の教育活動外収入						
d 教育活動外収入計			521 770		521 770	
支出の部		(1) 借入金等利息	8 099 385		8 099 385	
		(2) その他の教育活動外支出				
		e 教育活動外支出計	8 099 385		8 099 385	
f 教育活動外収支差額 (d 教育活動外収入計 - e 教育活動外支出		△ 7 577 615		△ 7 577 615		
特別収支	収入の部	(1) 資産売却差額				
		(2) その他の特別収入				
		(うち寄付金)				
		(うち補助金)				
	g 特別収入計			0		
	支出の部	(1) 資産処分差額				
		(2) その他の特別支出	1 000 000		1 000 000	
h 特別支出計		1 000 000		1 000 000		
i 特別収支差額 (g 特別収入計 - h 特別支出計)		△ 1 000 000		△ 1 000 000		
j 基本金組入前当年度収支差額 (e + f + i)		26 242 336	△ 29 150 000	55 392 336		
k 基本金組入額合計		△ 66 141 364		△ 66 141 364		
l 当年度収支差額 (j + k)		△ 39 899 028	△ 29 150 000	△ 10 749 028		
m 前年度繰越収支差額		△ 700 288 269				
n 基本金取崩額						
o 翌年度繰越収支差額 (l + m + n)		△ 740 187 297				

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

科 目	年 度 末
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 土地	
(1) 校地	820,300,000 円
(2) 寮地	91,046,317 円
2 建物、構築物	
(1) 校舎 岡山市北区昭和町35-1 他	601,387,822 円
(2) 寮 岡山市北区南方他	145,153,820 円
(3) 構築物	21,812,897 円
3 教育研究用機器・備品	30,914,897 円
4 管理用機器備品	3,614,091 円
5 その他の財産	60,630,238 円
(二) 運用財産	
1 預金、現金	141,433,579 円
2 未収入金、前払金	3,601,476 円
3 立替金他	26,244,688 円
資 産 合 計	1,946,139,825 円
二 負債額	
1 固定負債	
(1) 長期借入金他	355,852,675 円
2 流動負債	
(1) 授業料前受金他	409,929,918 円
負 債 合 計	765,782,593 円
三 差引正味財産	1,180,357,232 円

事業報告書

(第33期 平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

深く専門の諸科学を教授研究し、高度産業社会の科学的発展に寄与する優秀な技術力を持つ専門技術者を育成する。

(2) 学生数の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
5月1日時点	522人	560人	571人

(3) 教職員の概要

常勤教員	非常勤教員	常勤職員	計
40人	33人	16人	89人

*理事長、常務は含まない。

2. 事業の概要

(1) 教育活動

①下記学科において、修業年限の変更や学科名変更・教育内容の見直しを行なった。

- 国際自動車工学科 : 修業年限を2年から3年へ変更した。
- バイオサイエンス学科 : 食品生命科学科へ名称変更を行うと共に食品加工実習を新しく取り入れた。
- ものづくり工学科 : ものづくり創造学科へ学科名変更を行うと共にIoT関連授業等を新しく取り入れた。

②当年度から始まった高等教育の修学支援新制度においては、その対象機関として認定された。これに伴い、在學生は新たな給付奨学金や授業料減免等への申請が可能となった。

(2) 主な教育研究機器備品の整備

- ①測量機材の更新
GNSS受信機2台(3,670千円)、
トータルステーション4台(4,680千円)を購入した。
- ②学生寮外構工事
学生寮(谷万成寮)の外構・駐輪場を整備した(12,852千円)。
- ③学生用サーバーの更新
学生用インターネット接続の安定化、求人票閲覧システム等に対応のためwebサーバー、メールサーバーを更新した(1,248千円)。

(3) 就職状況

(令和元年度実績)

求人社数1,119社、 求人数2,459名(求人倍率15.1倍)、
最終就職率99.4%

以上

監査報告書

学校法人 岡山科学技術学園

理事長 瀬戸川 正彦 殿

私たちは監事として、岡山科学技術学園 寄附行為第17条に基づき監査報告を行うため、令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の、学校法人の業務又は財産の状況について監査を行った結果、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

令和2年 5月 23日

学校法人 岡山科学技術学園

監事 本 剛 

監事 岡 博明 

Ⅸ 学校評価（情報提供ガイドラインの項目9）

- (1) 自己点検・自己評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
 - (2) 自己評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
 - (3) 学校関係者評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
-